

多磨全生園・国立ハンセン病資料館

フィールドワーク

主催：神奈川歴教協

11月24日(日)

国立ハンセン病資料館前

9:50集合



☆西武池袋線「清瀬」駅南口から西武バスで10分
「ハンセン病資料館」下車。

☆または西武新宿線「久米川」駅から西武バスで20分
「ハンセン病資料館」下車

参加費：無料 飲み物などは各自用意

昼食は、園内食堂で各自注文の予定

神奈川県歴教協会員で非常勤講師は交通費補助（2000円）

日本のハンセン病対策の歴史は、絶対隔離（すべての患者の終生隔離）を実施してきました。長い間、「ハンセン病は嫌な病気」「付き合ってはならない病気」というとらえ方が広まりました。今年の6月28日には、ハンセン病患者に対する国の誤った隔離政策で差別を受け、家族の離散などを強いられたとして、元患者の家族561人が国に損害賠償と謝罪を求めた集団訴訟（ハンセン病家族訴訟）において、熊本地裁は国の責任を認め、総額3億7675万円の支払いを命じる判決を言い渡しました。（7月9日国は控訴断念、謝罪）現在にも続く悲慘な歴史を正しく知り、人権や福祉のあり方について深く学びあう機会にしたいと思います。

*9:50 国立ハンセン病資料館入り口前集合 *10:00~ガイダンス映像視聴

*10:40~ 語り部映像視聴 *11:35~ 見学前ガイダンス *11:50~ 展示自由見学

*13:15~ 昼食「なごみ」（園内食堂） *13:45~ 多磨全生園見学

*15:00~ 山内きみ江さん（在園者）のお話（研修室） *16:00 現地解散

参加申し込み：10月30日までに神奈川歴教協事務局（kanareki.jimukyoku@ozzio.jp）へ

（メールには「氏名」「当日用の携帯番号」をお願いします。）

